

フクロウの会(福島老朽原発を考える会)のブログ...<http://fukurou.txt-nifty.com/fukurou/>

もくじ

再稼働のための「東電分社化」に反対！
パンフレット紹介.....1
脱原発を実現するためにも秘密保護法
・国家安全保障会議設置法に反対しよ
う！.....3
「放射能測定プロジェクト」.....4
FFTV.....5
書籍『茶色の朝』に寄せて.....6
福島ほかほかプロジェクト.....7
活動日誌(9月13日~11月4日).....8
会員・サポーター募集.....8

フクロウの会

(福島老朽原発を考える会)

●フクロウの会は放射能汚染や事故の心配がなく、放射性廃棄物を生み出さない社会、すなわち原発のない社会をめざして首都圏で活動を続けてきた団体です。

●今回残念ながら福島で重大な事故が起きてしまいましたが、事故による人々の被ばくが少しでも少なく抑えられるよう事故直後から情報提供、放射能測定プロジェクト、国や自治体への働きかけなどの活動を行ってきました。

●そんなフクロウの会の様々な活動を支えるための会員・サポーター・資金カンパ募集中です。ご協力いただけますと幸いです。

【カンパ送り先】

- ゆうちょ銀行からの振替
 - ・口座記号番号 00130-9-655439
 - ・口座名称(漢字) 福島老朽原発を考える会
 - ・口座名称(カナ) フクシマロウキウゲンパツラカンガエルカイ
- 他の金融機関からの振込
 - ・銀行名= ゆうちょ銀行
 - ・金融機関コード 9900
 - ・店番 019
 - ・預金種目 当座
 - ・店名 〇一九店(ゼロイチキウウ店)
 - ・口座番号 0655439

再稼働のための「東電分社化」に反対！ 東電は破綻させて柏崎刈羽原発は廃炉に！

■自民党の東電分社化のまやかし

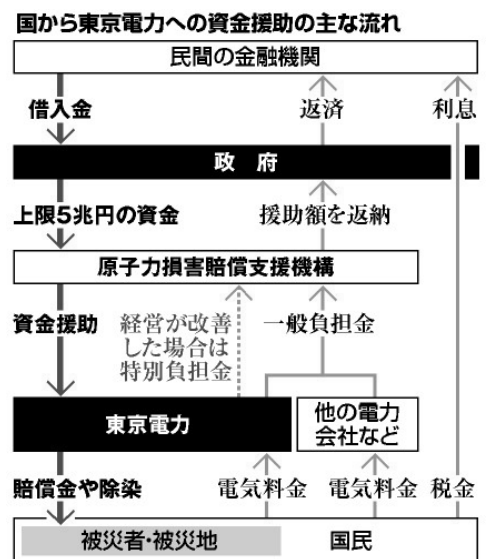
自民党は除染に国費を投入し、廃炉や汚染水対策を分離する東電分社化案を提言しようとしています。これは、東電を破綻させないスキームが既に破綻しているにもかかわらず、血税の投入により東電をゾンビのように生き永らえさせ、東電への投資でもうけてきた金融機関や機関投資家を救済するものです。さらに、柏崎刈羽原発を「よい東電」に入れて、「悪い東電」の福島から切り離すことにより、原発事故の責任を曖昧にし、再稼働を促進するものです。

東電を破綻させないスキームこそ問題です。東電をきちんと破綻させ、金融機関や機関投資家にも責任をとってもらい、国が全面的に責任を持つ実質的な国有化をすべきです。その場合、再稼働中止と原発からの撤退、自然エネルギーへの移行が前提となります。

■金融機関が傷つかない東電を破綻させないスキーム

現在の東電は、形式的には国が株式の50.11%を持つ国有企業ですが、実質的には依然として9電力体制の中心をなす私的企業です。東電を破たんさせないスキームは、賠償によって生じた東電の巨額の損失について、国が5兆円を限度に貸し付け、常に損失と同額の税金を充てることにより実現します。損失は相殺され、東電は決して債務超過にはなりません。公然たる粉飾決算です。投入した税金については、原発をもつ電力会社と、東電の経営が黒字になったときに、利益の半分を返済し続けることになっています。除染費用は国や自治体が肩代わりしていますがこれも将来返還が求められます。黒字化の切り札は電力料金値上げと柏崎刈羽原発の再稼働です。

(図は朝日新聞より)



表向きは事故の責任を東電に負わせながら、費用は、電気料金の値上げと、返済のあてがない貸し金という形で税金があてがわれています。一方で、東電が生き残ることにより、東電に巨額の融資を続け、あるいは株式や社債を買い込んで儲けてきたメガバンクなど金融機関や株主である生保など機関投資家は傷つくことはありません。それどころか柏崎刈羽原発の再稼働により、さらに儲けようとしているのです。

東電を破綻させないスキームでは、東電が生き残るためには、賠償をけちり、汚染水対策をないがしろにしてでも、柏崎刈羽原発の再稼働に力を注がなくてはなりません。これが汚染水対策を遅らせているのです。

■東電を破綻させないスキームは既に破綻している

既に東電は破綻しています。賠償・除染費用だけで当初見積もりを大きく超え、10兆円に及ぶといわれます。除染だけで28兆円という試算もあります。自民党はこれに巨額の国費を投入しようとしているのです。東電には廃炉費用、そして今回の汚染水事故処理費用がのしかかります。会計処理規則を強引に変更して、電気料金からも徴収できるようにしましたが、いくらになるか見当もつきません。国は鹿島建設の「凍土方式」を含む汚

染水対策費用として、470億円の国費を投入するとしています。国が乗り出すとの名目ですが、実のところは東電救済です。

東電の経営を圧迫し、賠償・汚染処理など必要な出費を出し渋ってきた背景には借金経営があります。この巨額債務を棒引きにし、株式を破棄し、メガバンクや生保などの金融機関や機関投資家にも負担させることで費用を捻出することができます。三大メガバンクの融資額は約2.1兆円ですが、それでもたった1年分の利益にすぎません。しこたま儲けているのです。

■汚染水事故を尻目に再稼働に3200億!?

柏崎刈羽原発は廃炉に!

東電は9月27日、柏崎刈羽原発6・7号機の再稼働に向けた審査を原子力規制委員会に申請しました。東電は柏崎刈羽原発を再開するために、フィルター付ベントなどの工事に3200億円以上をあてるといいます。銀行団は、東電が柏崎刈羽原発の審査申請を行った直後に800億円の借り換えを認め、さらに年末までに、来春の再稼働を前提に3000億円の新規融資を行う予定です。汚染水対策には出さず、柏崎刈羽は大盤振る舞いの異常ぶりです。



フクロウの会発行のパンフレット紹介

シリーズ - 子どもたちの尿検査から見えてきたもの

初編 「福島の子どもたちの尿検査から見えてきたもの」(2011年11月発行)

続編 「続・子どもたちの尿検査から見えてきたもの」(2012年4月発行)

Vol.3 福島県「健康管理調査」で子どもたちの健康は守れない

継続検査で内部被ばく低減を(2013年1月発行)

入手ご希望の方はパンフレット希望と書いて、ご希望のパンフレット名、冊数、送付先(郵便番号、住所)、氏名をご連絡ください。代金は振り込み用紙を同封しますので受け取り後振り込んで下さい。

kaoki18014@gmail.com

東電の再稼働申請の動きに対し、福島原発事故の検証が先だと強く抵抗していた新潟県泉田知事は、26日になって、その前日までの態度を一変させ、条件付きで審査を容認しました。原子力規制委員会は申請を受理し審査を始めるといいます。非常に危険な動きです。

東電こそ、人もカネも、あらゆる資源を投入して汚染水事故対策に専念すべきです。福島第一原発で事故を引き起こした同じ沸騰水型原子炉（BWR）のタイプでは初の申請で

すが、汚染水事故を含めて、福島原発事故の検証はなされていません。さらに、敦賀原発や大飯原発などと同様に、活断層問題、地盤問題を抱えています。そうしたことから安全上、最も再稼働させてはならない原発です。新潟県民も全国の世論も東電の横暴と暴走に反対と批判は強くあります。

東電分社化に反対しましょう。全国の再稼働反対の運動と連携し、柏崎刈羽原発の再稼働を止めましょう。

脱原発を実現するためにも秘密保護法

・国家安全保障会議設置法に反対しよう！

特定秘密保護法は、単に私たちの「知る権利」を奪うだけでなく、言論・出版の自由、学問の自由など、憲法で保障された基本的人権を奪い、その一方で警察の自由な捜査・逮捕の権限を与える危険なものです。国家安全保障会議設置法などと相まって、戦争できる国づくりが現実に進もうとしています。脱原発を願う私たちにとっても人ごとではありません。

■無制限の秘密対象：原発の事故情報も秘密に??

秘密保護法が秘密とする「特定秘密」は、防衛・外交・安全脅威活動防止・テロ活動防止の4分野とされています。設定基準を設けるとしてはいますが、実際には、決定権をもつ行政長の裁量範囲であり、行政機関にとって都合の悪い情報はすべて「特定秘密」にされてしまいます。

原子力施設では、既に「テロ防止」や「核防護」と行った名目で、プルトニウムを扱う再処理工場や原発の警備に関わるものなどが秘密になっています。秘密保護法が通れば、これが拡大し、重大事故時の安全対策などで、政府に都合の悪い情報が出なくなる恐れがあ

ります。政府は、「テロ防止」のため、原発の警備情報は秘密にあたるとの説明をしています。解釈次第で秘密の範囲は際限なく広がる恐れがあります。

原発で重大事故が起きても、住民を避難させない、そのために、秘密保護法を盾に、情報を一切出さない対応をとる可能性もあります。福島原発事故では、SPEEDIのデータが隠され、それにより、線量の高い地区への避難を余儀なくされた住民が多くいましたが、秘密保護法は、これをも正当化してしまう危険な法律です。

■知らぬ間に刑事被告人に？警察力強化で一方的に逮捕も！?

「特定秘密」が何であるかも秘密です。原子力のある施設が「テロ防止」を口実にして「特定秘密」とされてしまった場合、知らずに調査をただけで、刑事被告人にされてしまいます。警察も、一方的に、秘密保護法違反の疑いだけで、捜査・逮捕ができてしまいます。

原子力規制庁には、元警視總監で、公安の幹部も務めた池田長官をはじめ、警察公安や防衛省の幹部だった者が職員として入り込ん

でいます。脱原発を願う市民運動への監視・弾圧が懸念されますが、秘密保護法はそれをさらに進めるものです。

れています。是非ご参加ください。また地元の議員などにはたらきかけてください。

■秘密保護法に反対しよう！

秘密保護法は、国家安全保障会議の設置がセットになっています。集団的自衛権を行使し、実際に日本が戦争できる国づくりを進めようとしています。このような法案に反対しましょう。「秘密保護法を考える市民の会」により、街頭シール貼り投票、官邸前行動や国会議員まわりなど、多彩な取り組みが行わ



フクロウの会「放射能測定プロジェクト」

子どもの体操服から 93Bq/kg のセシウム検出

フクロウの会「放射能測定プロジェクト」では、子どもの生活環境に注目して汚染実態を明らかにする活動を継続しています。活動の大きな柱は福島県内外の子どもの尿検査ですが、その他土壌汚染調査、ハウスダスト調査などを行っています。

放射能測定プロジェクトの新たな取り組みとして、子どもたちの衣類の汚染実態の調査を開始しました。政府は「除染」から「帰還」へ舵を切り、住民に帰還をせまる動きを強めています。そのような中で各地の汚染実態を明らかにする取り組みの一環として衣類の調査を始めることにしました。今回の調査は本格調査の前に先ず状況をつかむための予備調査として、伊達市在住の方々に協力をいただき調査しました。

No	種類	説明	測定結果 (Bq/Kg) ()は検出下限値		
			Cs-134	Cs-137	Cs 合計
1	タオル	新品 1度洗い 内干し	ND(2.7)	ND(3.1)	ND
2	タオル	新品 1度洗い 外干し	ND(2.7)	ND(2.8) ピーク有*	ND
3	Tシャツ	数十回洗濯 内干し	ND(14)	ND(14)	ND
4	Yシャツ	仕事用Yシャツ 数10回クリーニング	ND(6.5)	ND(7.8)	ND
5	体操着	体操着 数十回洗濯 外干し	24±5.4	69±12	93
6	Tシャツ	2012, 13年夏着用	20±4.5	45±8.8	65

表が今回の予備調査の結果の一部です。このデータからもいろいろなことが分かります。先ず、No.1,2のタオルです。どちらも新品を1回洗濯した後に外干し、内干ししたものの違いです。Cs-137は検出下限値以下でしたが、測定スペクトルにはCs-137のピークが検出されました。このことは大気中のチリにCs-137が舞っていることを示しています。

No.5の体操着からは93Bq/Kg検出されました。この体操着は2年間ほど学校の体育の授業の時に着用していたもので、洗濯後のものです。またNo.6のTシャツからは65Bq/Kg検出されました。このTシャツはやはり2年間夏に着用し洗濯後のものです。これらの結果が



書籍『茶色の朝』に寄せて

『茶色の朝』はフランスでは1998年、日本でも2003年から出版されているロングセラーで、フランスでは100万部以上が売れ、2002年には極右の大統領誕生を阻止した運動にも大きく関与した寓話の本です。日本語版は短い本編(寓話)に挿絵と哲学者の高橋哲哉さんの解説的メッセージが加えられています。

そのメッセージから少し抜粋すると

「ファシズムや全体主義は、権力者が人々を一方向的に弾圧し、恐怖政治をしくことによって成立するだけではありません。とくに、いちおう「民主主義」を制度として前提する社会では、はるかに多くの場合、人びとがそうしたものの萌芽を見過ごしたり、それに気づいて不安や驚きを覚えながらも、さまざまな理由から危険な動きをやり過ごしていくことによって成立するのです。」

寓話の方のストーリーは、ある日茶色以外の猫を飼うことが禁止になり、次は犬が、次は…、と少しずつ茶色だけに染まっていく社会を描いたものです。主人公とその友人はそういった社会の動きに違和感や不安を覚えながらも、言い訳を見つけ、理由をつけて、茶色を受け入れ茶色に守られた安心に浸っていきます。そしてある日主人公は突然「茶色の朝」をむかえます。

ある種予定調和的な寓話ですので、きっと多くの読み手には主人公とその友人が茶色を受け入れていく様子から、これから危ない展開になっていくなということが早い段階で分かりますし、茶色の朝が本当は突然やってきたのではないことも分かります。しかし実際の暮らしの中に同じ読み手が置かれた時には、危ない展開につながる社会のおかしな動きを察知するのはどうも少し難しくなるのかもしれない。主人公とその友人のように「茶色に守られた安心」を、それも悪くない、と感じている人がこの国にはまだ多いように思います。

おかしな社会の動きのいくつかは今回の通信の記事にもなっています。理由をつけて受け入れるのか、考え行動していくのか、問われている時ではないでしょうか。

福島原発事故という、ひとつの茶色の朝を経験したはずの私たちが、また新たな茶色の朝を迎えることのないように、私たちみんなが分からないことをそのままにせず、違和感や不安に言い訳せずに向き合い、考え、行動していけるようにと願います。

『茶色の朝』 フランク・パブロフ 物語
 ヴィンセント・ギャロ 絵
 高橋哲哉 メッセージ
 藤本一勇 訳
 大月書店



ぽかぽかプロジェクト

9~11月猪苗代シェアハウスステイ実施



「福島ぽかぽかプロジェクト」は、線量が高い地域に住んでいる子どもたちが心身共にリラックスして、野外でのびのびと遊べる機会を提供するために、週末などに線量が低い場所に滞在してもらう民間保養プロジェクトです。9月~11月は猪苗代でのシェアハウスステイを2泊3日3回、1泊2日1回の計4回実施しました。9月28・29日の「おたがいサマー@ふくしま」さんとのコラボの回ではフクロウの会の青木一政が講師となりセミナーも実施いたしました。各回の実施中の子どもたちの様子などぜひぽかぽかブログをご覧ください。毎回、それぞれの子どもたちのいろいろなエピソードが生まれていますが、自然の中でのびのび遊んでいる様子に思わず顔がほころびます。

本来当たり前であったはずのその光景をすべての子どもたちが取り戻せることを願っています。

☆報告書発送いたしました☆

ご支援いただいている方でご住所又はメールアドレスをお知らせいただいている皆さまに向けて2013年10月付けの報告書を送付いたしました。ご支援下さっているけれどもご連絡先をお知らせいただいていた方が報告書ご希望の方はぽかぽか事務局まで報告書送付先をお知らせください。また、何らかの理由で戻ってきってしまうメールなどもありますので連絡先は伝えてあるのに報告書が届かない、という方もお知らせいただければ再送させていただきますのでお手数ですが再度ご連絡先をお知らせください。

よろしくお願いたします。



みなさまのご寄附によって支えられています。

＜お振込み口座＞

- 1) 東邦銀行本店・普通口座 3697748
口座名義：わたり土湯ぽかぽかプロジェクト
代表 菅野吉広（かのよしひろ）
- 2) ゆうちょ銀行・記号 18230・番号 29132261
口座名義：わたり土湯ぽかぽかプロジェクト

※口座にお振込後、FAXまたはメールなどで、

- 1)お名前（団体名）、2)金額、3)連絡先、4)メッセージ、
- 5)お名前・メッセージの公開可否などをご連絡下さい。

Fax:03-5225-7214

※頂いたご寄附は、高線量地域の子どもたちおよびご家族が、低線量地域で過ごすための宿泊費用や交通費、福島のみなさまに対する低線量被ばくや健康管理などに関する情報提供、プロジェクト運営費に使わせていただきます。節目毎に収支報告書も公開してまいります。

活動日誌
(9月13日~11月4日)

- 9/13 復興庁「支援法」東京説明会会場前でピラマキ
- 9/14 「さようなら原発大集会 in 亀戸」で汚染水問題の国際署名集め
- 9/15 「いのち・原発を考える新潟女性の会」学習交流会で阪上代表が講演
- 9/21~23 ほかほかプロジェクト in 猪苗代*
- 9/22 第1回ちくりん舎シンポジウム開催****
- 9/28、29 ほかほかプロジェクト in 猪苗代*
- 10/2 汚染水流出事故で院内集会&署名提出・政府交渉
- 10/7、11 首相官邸前で子ども・被災者支援法基本方針案見直しを求めるアピール行動**
- 10/12~14 ほかほかプロジェクト in 猪苗代*
- 10/13 緊急集会「汚染水流出事故と柏崎刈羽原発」
- 10/20 定例会、フクロウ・カフェを開催
- 11/2~4 ほかほかプロジェクト in 猪苗代*

その他 福島ほかほかプロジェクト、ちくりん舎、規制庁前行動、FFTV など他団体と共同で活動中

- * ほかほかプロジェクトでの活動
- ** 原子力規制を監視する市民の会での活動
- *** 放射線被ばくと健康管理のあり方に関する市民・専門家委員会での活動
- **** ちくりん舎での活動



フクロウ・カフェ

不定期ですが、原発、放射性物質、規制の在り方、避難の権利などについていろんな想いを共有し、お話ができる場としてフクロウ・カフェを開催しています。
色々な疑問や不安、私はこう思う! などなどみんなで話しませんか?

次回開催日時未定 決まり次第ご案内 いたします。

どうぞお気軽にご参加下さい。



お気軽に♪

フクロウの会では、会員・サポーターを募集中です。
会員・サポーターには通信を郵送します。



【会費】・会員 1000 円/月 ・サポーター1000 円以上/年

- 集会でのスタッフやパンフ作成のご協力など一緒に活動していただける方を募集しています。
- 皆さまの貴重なご意見もお待ちしております。

フクロウの会の趣旨にご賛同いただき、会員・サポーターになっていただける方は、フクロウカフェなどにお越しの際に申込書にご記入の上、会費を添えてフクロウの会事務局員にお渡しください。

【お問い合わせ・お申し込み先】

TEL : 03-5335-7213 FAX : 03-5225-7214 Email : fukurounokai@gmail.com
(通信郵送のお申し込みもこちらで受け付けています☆ご希望の方はお知らせください。)

